

1. 評価結果概要表

作成日平成20年11月20日

【評価実施概要】

事業所番号	3771100520
法人名	社会福祉法人瑞祥会
事業所名	グループホームあじさい
所在地	香川県東かがわ市引田922番地18 (電話)0879-33-7001

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成20年10月31日	評価決定日	平成20年11月20日

【情報提供票より】20年9月22日)事業所記入

(1)組織概要

開設年月日	昭和(平成)12年4月1日				
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	6人		
職員数	5人	常勤	1人, 非常勤	4人, 常勤換算	3.3人

(2)建物概要

建物構造	鉄骨平屋造り 1階建て
------	----------------

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	16,000円	その他の経費(月額)	2,000円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200円			

(4)利用者の概要(9月22日現在)

利用者人数	6名	男性	0名	女性	6名	
要介護1	1名	要介護2	5名			
要介護3	名	要介護4	名			
要介護5	名	要支援2	名			
年齢	平均	81.5歳	最低	72歳	最高	87歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	森医院 永峰歯科医院 県立白鳥病院 さぬき市民病院(精神科)
---------	--------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当グループホームの運営主体は、隣設の特養などを経営する社会福祉法人である。裏山があり、隣接のテニスコートや近くのあじさい公園など自然に恵まれた環境にある。職員は、利用者の安全・安心のケアに取り組んでいる。支援の特徴は、利用者の尊厳性・主体性を重視した食事作り、掃除、四季折々の花を咲かせる花壇づくりなど職員と協働した活動が積極的に行われている。月2回、定期的に介護相談員の訪問を受入れて、大型紙芝居などで利用者の情緒面の安定が図れている。ボランティアの生け花講師の指導により、利用者自らが個性を生かした生け花でそれぞれの居室を飾るなど、ボランティアと楽しい時間を共有する喜びを体験している。地元行事にも積極的に参加し、地域との交流を図っている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善課題としての啓発については、独自の広報誌はないものの、法人の広報誌に、事業所の取り組み状況を載せるなど、啓発の工夫をしている。 職員数が少なく、全職員が一緒に集う機会が取り難いため、管理者が事前に各職員に自己評価表を手渡し、職員の意見を聞いた上で作成するなど工夫した取り組みをしている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	利用者家族代表、民生委員、市職員も参加して、ホームの現状報告を中心に2か月に1回開催している。市側の時宜を得た行政説明も参加者に好評である。民生委員などからのレクリエーションや避難場所についての助言も得られ、利用者のケア計画にも反映している。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	日常的にホームに訪れる家族については面会時に、体調の変化などはその都度電話などで話し家族の不安軽減を図っている。また、遠地の家族には3か月に一度請求書と共に、管理者が利用者の暮らしぶりなどについて便りを送るなど、必要に応じた方法で利用者の状況を伝えている。運営に対する意見箱の設置他、第三者委員を掲示している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ひな祭り、りんご狩り、亀鶴公園の菖蒲祭りなど地域の一員として地元行事に参加したり、公民館祭りに利用者のちぎり絵などを出品し、地域との交流を図っている。また、定期的に生け花指導のボランティアの訪問もあり、利用者が心待ちにするほど好評である。今後は、地域の保育・幼稚園や小学校と連携し、子どもとの交流を促進することが期待される。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		○地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人としての理念はつくられている。	○	今後は、地域密着型サービスとしての事業所独自の理念づくりが期待される。
		○理念の共有と日々の取り組み			
2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人としての理念を事務所内に掲示し、管理者は、常に理念を携帯している。	○	事業所独自でつくり上げた理念をホーム内の見えやすい位置に掲示したり、全職員が理念を共有し実践に向けた取り組みを期待したい。
2. 地域との支えあい					
		○地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ひな祭りやりんご狩り、亀鶴公園の菖蒲祭りなど地域の行事に参加したり、公民館にちぎり絵を出品するなど、地域交流を図っている。週1回の生け花指導のボランティア訪問は、利用者が心待ちにする程好評を得ている。	○	今後は、一歩進んで日常性を出して、保育・幼稚園児や小学生が遊びに来てくれるよう、保育・幼稚園や小学校との連携が期待される。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		○評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、運営責任者である理事長にも報告している。自己評価および外部評価の意義は理解している。	○	運営者、管理者、職員全員で課題に対し具体的改善計画を作成し、取り組めるよう期待したい。
		○運営推進会議を活かした取り組み			
5	8	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の参加者からの助言などを参考に、外出支援を行っている。また、実施の際に管理者は必ず下見するなど、利用者の安心・安全に配慮した取り組みを心がけている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当窓口とは、運営推進会議以外行き来するまでには至っていない。	○	市担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを伝えるなど、市と共にサービスの向上を目指した取り組みが期待される。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	介護計画は家族の訪問時などを利用し説明している。体調の変化などはその都度電話で家族に連絡している。また、遠方の家族には、管理者が3か月に一度請求書と共に、利用者の暮らしぶりなどについて報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱設置の他、苦情受付担当者および第三者委員を掲示し、家族などが意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せるようにしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は最小限に抑えている。法人内異動は事前に利用者を訪問するなど馴染みの関係をつくる努力をしている。異動の際は、その都度利用者、家族に伝え、利用者のダメージを防ぐよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月1回開催の同法人の特養研修会に全職員が参加している。また、日々のケアの中でトレーニングをしている。	○	今後は、他事業所や外部研修の情報を提供し、研修を受ける機会の確保により、職員の資質向上を期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営推進会議で市に提案しているが、同業者との交流は実現していない。	○	グループホーム協議会に加入したり、同業者と交流する機会や勉強会などを通じて、サービスの質を向上させていく取り組みを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	個別のケースに応じて2～3回事前に事業所を見学してもらったり、職員が家庭訪問することで、本人が安心・納得してサービスを利用できる工夫をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の残存能力や生きがい、個人の希望などその人に合った生活を築けるよう支援しているが、安心・安全を配慮するためか、利用者に対し守りの姿勢が見られる。	○	利用者とのコミュニケーションを密にしながら、個人にあった生活を築いているが、喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係が築けることが望まれる。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	同法人の特養で使用しているアセスメントシートを使って、利用者の思いや意向の把握をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は利用者の状況や意向を聞き、家族からは入所時に聞き取りをして職員間でケース会(意見を提出)を行い、個々の介護計画を作成している。また、精神障害など医学的配慮が必要な利用者の場合は、看護師から精神障害者のマニュアル本を提示してもらい意見を聞き作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の遂行状況・効果などを評価するとともに、職員が利用者の状態変化に気づいた時や、家族・本人の要望に応じて見直しを行っている。原則として、3か月に一度は見直しを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	現在、事業所の多機能性を活かした支援までには至っていない。	○	今後は、認知症対応の居住環境や職員の機能を活かし、介護保険サービス内でのサービスや事業所独自のサービスなどで、利用者と家族が安心して暮らし続けることができる支援を期待したい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族と協力し通院介助を行ったり、訪問診療に来てもらうケースがあるなど、かかりつけ医の受診支援を行っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族・医師・職員を交えて話し合いを行っている。また、状態変化があるごとに、本人・家族の思いや気持ちに注意を払い、繰り返し話し合い支援につなげている。入所時に本人および家族に説明し、理解・納得を確認の上、入所してもらっている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者から職員に対しての苦言にも、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけがないよう心がけている。利用者に関わるメモなどを事業所外に持ち出さないなど、プライバシーの確保の徹底に取り組んでいる。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食後自室でくつろいだり、ホールや廊下を自由に歩いたり、一人ひとりの生活のリズムを大切にしている。買い物や散歩は、一人ひとりの状態や思いに配慮しながら柔軟に対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者全員が利用者自身の茶碗・箸・コップを使用し、個別性を重視して食卓を囲んでいる。メニューや味付けの良しあしなど、自由な雰囲気ですべてを楽しんでいる。食後は、職員と話しながら喜々としてランチョンマットを四つ折りに畳んだり、テーブル拭き、食器洗い、一人でリズムカルに床掃除などを行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午前中は、ボランティアの受け入れや行事などの関係もあり、毎日全員が午後1時から入浴している。利用者は、お互いの入浴の順番を心得ていて、スムーズに入浴を楽しんでいる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除、庭いじり、荷物の移動、編み物など、利用者の張り合いや楽しみごとなどで、喜びのある日々を過ごせるよう気晴らしができる支援を行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の日課で隣接の特養に利用者全員がバイタルサインチェックに出掛けたり、庭いじりの好きな人には花壇の手入れに誘ったり、徘徊癖のある人にあじさい公園の池の鯉の餌やりに誘ったり、一人ひとりの希望に沿った日常的な外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	何度か個室の窓から抜け出した利用者もいるが、隣接の特養職員の協力もあり、直ぐに帰ってもらっている。玄関、物干し場、裏口の出入り口3か所共に、日中は鍵をかけないケアに取り組んでいる。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	隣接の特養と一緒に年2回実施の避難訓練に、一部の職員が参加している。	○	事業所独自の避難通路を示したマニュアルづくりや当事業所における避難方法の確認(訓練)により、職員や利用者が災害時に備えられることを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリーの過不足や栄養の偏りに注意したり、一日1リットルの水分量を目安に、水分不足が起こらないよう支援を行っている。食事量が少ない場合は、ゼリー状の栄養補給食品で補充したり、水分を取りたがらない利用者には、少し甘味を付けたりと工夫をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関は季節の花が飾られ、年月をかけて磨き上げられた廊下は、美しく輝き居心地を良くしている。ホールは南からの採光で明るく、裏山は四季の彩りで利用者の目を楽しませている。畳が敷いてあるコーナーの一部は落ち着いた雰囲気を出し、一休みで腰掛けるのに最適の場所である。地域の公民館祭りに出品する作品づくりにも好適のスペースとなっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれの居室はトイレ付の個室となっている。好みの場所にレクリエーション時の利用者の写真や家族の写真が飾られている。たんすなど家具の配置は利用者や職員と一緒にやっている。また、同じ花材を利用者それぞれの好みでアレンジして、好みの場所に飾るなど、居心地よく過ごせるような居室の工夫をしている。		